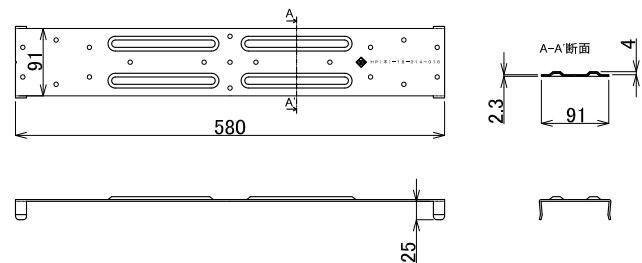
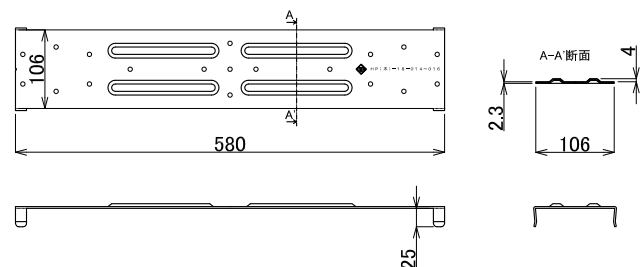


1. 構成部材・寸法

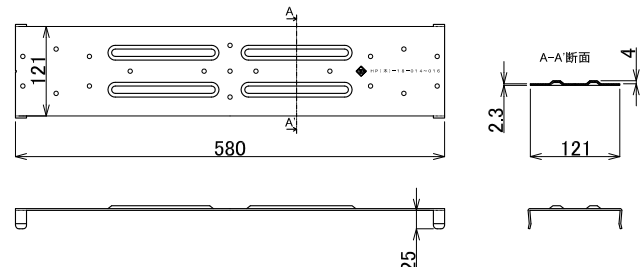
1-1 プレスターX90幅（筋かい幅90mm対応）



1-2 プレスターX105幅（筋かい幅105mm対応）



1-3 プレスターX120幅（筋かい幅120mm対応）



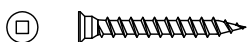
材質：JIS G 3302 熔融亜鉛めっき鋼板 SGH400 板厚2.3mm  
表面処理：Z27 以上

1-4 専用ビス

専用ビス30mm (OK-30: グリーン)

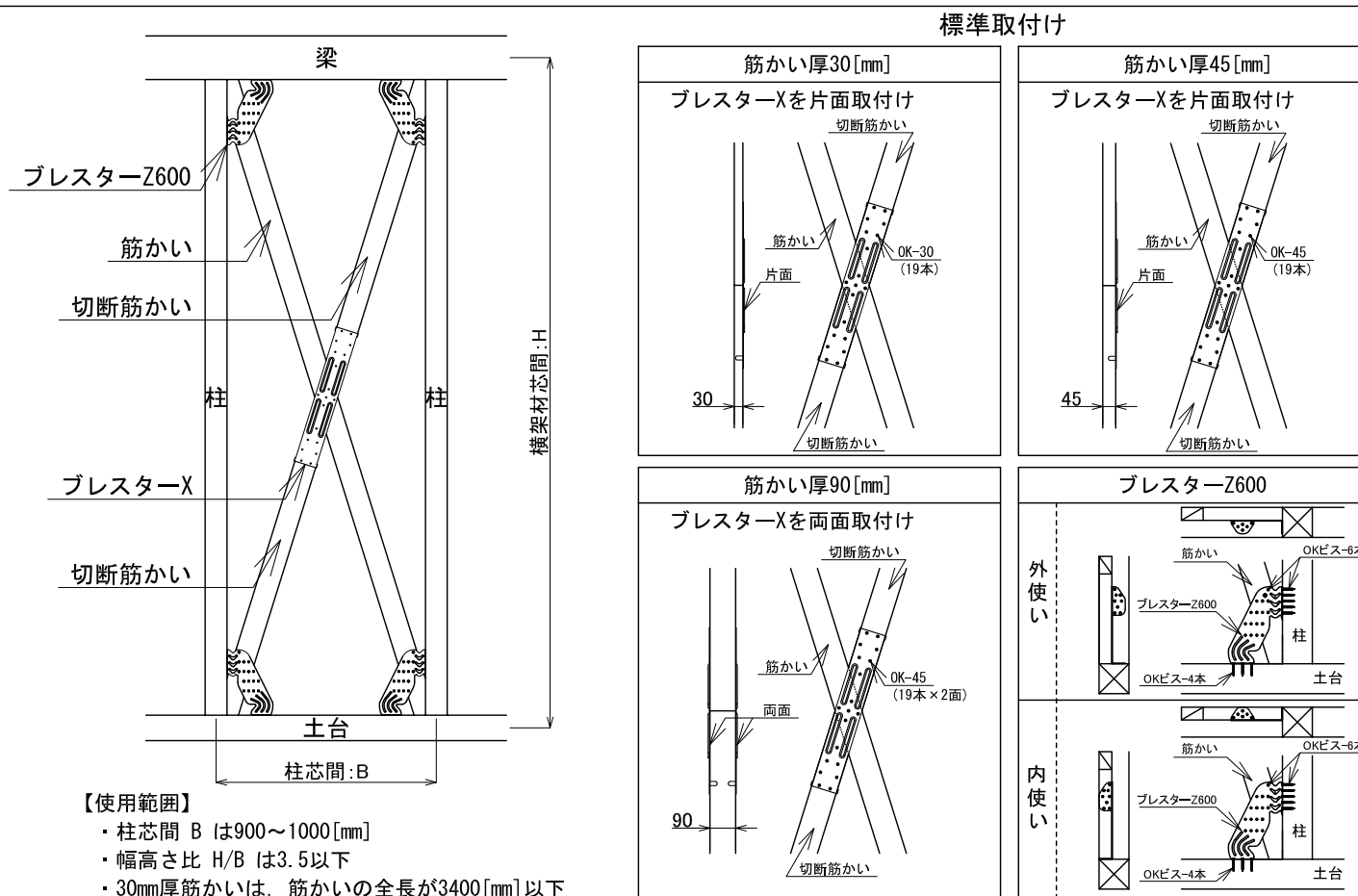


専用ビス45mm (OK-45: グレー)



材質：JIS G 3507 冷間圧造用炭素鋼線材表面処理：Z27 以上  
表面処理：高耐食性クロムフリー処理

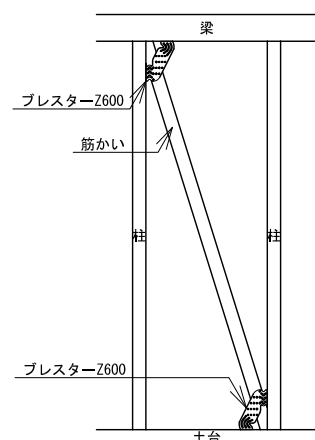
2. 工法概要



3. 施工方法及び施工時の留意事項

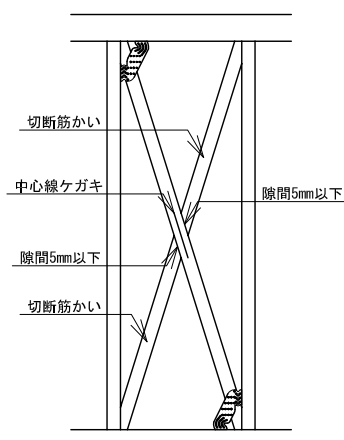
3-1 片筋かい取付け

- ・切断しない筋かいを取り付ける
- ・プレスター-Z600を専用ビスで留め付ける



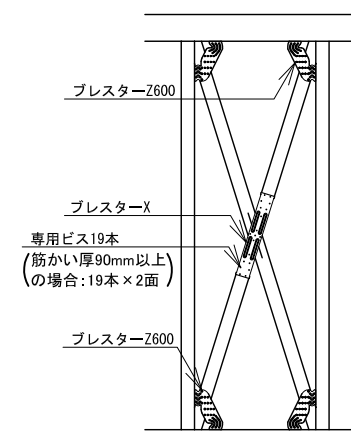
3-2 反対筋かい切断

- ・反対側の筋かいを切断する
- ・切断しない筋かいに中心線をけがく
- ・切断筋かいの両端部が横架材・柱に接するように設置
- ・筋かい同士の隙間は5mm以下



3-3 プレスターX取付け

- ・プレスターXの中心孔とけがき線が合うようにプレスターXを設置
- ・プレスターX、プレスター-Z600を専用ビスで留め付ける



【注意事項】

- ・筋かい金物はプレスター-Z600を使用する
- ・切断した筋かいと片筋かいとの間隔は5mm以下とする
- ・プレスターXの中心が片筋かいの材芯となるように設置する
- ・切断した筋かい同士の材芯が通るように施工する
- ・筋かいの厚さが90mm以上の場合、両面にプレスターXを取付ける

4. 短期許容せん断耐力算定式

(1) プレスターX耐力壁の短期許容せん断耐力 (Qa) は、下記算定式より求める

$$Qa = (-0.38 \times (H/B) + 2.17) \times Pa3.0$$

H : 横架材芯間距離[mm]  
B : 柱芯間距離[mm]  
Qa : 短期許容せん断耐力[kN/m]  
Pa3.0: 筋かい厚ごとの基準耐力 (下表参照)

H[mm]	30×90以上		45×90以上		90×90以上	
	樹種: スギ	樹種: スギ	樹種: ベイツガ	樹種: スギ	樹種: スギ	樹種: スギ
Pa3.0	4.6	6.3	7.7	10.8		

※断耐力にプレスターXを用いる場合は許容耐力計算が必要

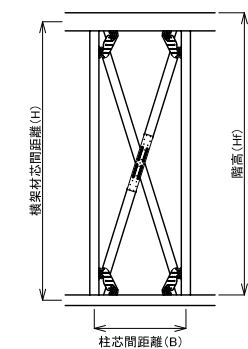
短期許容せん断耐力 (Qa) 一覧表 [柱芯間 (B) が910mmの場合]

横架材芯間 H[mm]	短期許容せん断耐力 Qa[kN/m]			
	30×90以上 樹種: スギ	45×90以上 樹種: スギ	90×90以上 樹種: ベイツガ	90×90以上 樹種: スギ
2600	4.9	6.8	8.3	11.7
2650	4.8	6.6	8.1	11.4
2700	4.7	6.5	8.0	11.2
2750	4.6	6.4	7.8	11.0
2800	4.6	6.3	7.7	10.8
2850	4.5	6.1	7.5	10.5
2900	4.4	6.0	7.3	10.3
2950	4.3	5.9	7.2	10.1
3000	4.2	5.7	7.0	9.9
3050	4.1	5.6	6.9	9.6
3100	4.0	5.5	6.7	9.4
3150	3.9	5.3	6.5	9.2
3185	3.8	5.2	6.4	9.0

(2) プレスターX耐力壁の剛性 (K) は、下記算定式より求める

$$K = 120 \times Qa / Hf$$

K : 耐力壁の剛性[kN/mm/m]  
Qa : 短期許容せん断耐力[kN/m]  
Hf : 階高[mm]



5. その他

本紙に記載のない事項については、以下に示す資料を参照の上適宜ご検討ください。  
2007年版 建築物の構造関係技術基準解説書 (工学図書株式会社)  
木造軸組工法住宅の許容応力度設計 (2017年版) (公益財団法人 日本住宅・木材技術センター)  
木質構造設計規程・解説 (一般社団法人 日本建築学会)  
フラット35対応 木造住宅工事仕様書 (独立行政法人 住宅金融支援機構)  
木造住宅の耐震診断と補強方法 (2012年改訂版) (一般財団法人 日本建築防災協会)

※記載の内容は予告なく変更することがあります